

「肝臓・腎臓・脾臓の温冷湿布法」の DHEA 分泌促進効果

"Liver-Kidney-Spleen Hot & Cold Compress Method "
shows promotion effects of DHEA secretion

大西 秀典¹⁾²⁾, 多田 龍生¹⁾³⁾

- 1) NPO ユー・アイ・クラブ, 2) ストレスクリニック・おおにし内科
3) 第一酵母株式会社

Nine healthy females aged from 29 to 70 performed "Liver-Kidney-Spleen Hot & Cold Compress Method " every evening during 28 days. On the first, fifteenth and twenty-ninth day, blood level of DHEA-S and somatomedin C were measured. Seven of nine subjects showed that the second and third values of DHEA-S were higher than the first one. Somatomedin C values showed no constant tendency. "Liver-Kidney-Spleen Hot & Cold Compress Method " shows promotion effects of DHEA secretion.

【緒言】

NPO ユー・アイ・クラブの名誉理事長, 故多田政一博士は約 60 年前に東西医学を総合統一した代替医療「綜統医学」を創始開発した。「綜統医学」は今日, 「生活医学」と称し, 天丹法(健康運動法, 家庭療法), 地丹法(発酵食養法), 人丹法(生活精神医学)よりなる。「肝臓・腎臓・脾臓の温冷湿布法」はその天丹法のひとつである。

【目的】

「肝臓・腎臓・脾臓の温冷湿布法」の医学的効用を実証するために, 抗加齢ホルモンと云われている DHEA (デヒドロエピアンドロステロン) とソマトメディン C の測定を行った。

【方法】

29 歳から 70 歳の健康な女性 10 名を対象とした。「肝臓・腎臓・脾臓の温冷湿布法」を 28 日間, 毎日 1 回夜間に施行し, 第 1 日, 第 15 日, 第 29 日の午前 10 時に採血し, DHEA-S とソマトメディン C の血中濃度を測定した。但し 1 名は期間中に妊娠が判明し, かつ習慣性流産により流産し, 手当を中断したため対象外とした。

【結果】

全ての実施者において DHEA-S とソマトメディン C の血中濃度は全て該当する年代の正常範囲内であった。DHEA-S は第 1 日に比し, 第 15 日, 第 29 日共に 9 名中 7 名が高値を示した。1 名は第 1 日に比し, 第 15 日, 29 日共に低値を示し, 他 1 名はほぼ無変化であった。ソマトメディン C の血中濃度は一定した変化を認めなかった。

【結論】

「肝臓・腎臓・脾臓の温冷湿布法」には抗加齢ホルモン DHEA の分泌促進効果を認める。